

料金後納郵便

JEM
TODAY

マーケットレポート

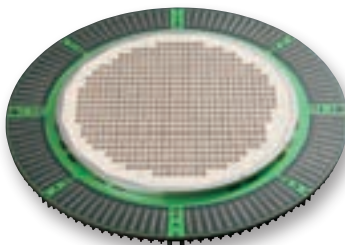
アドバンスプローブカードが好調に推移しました。

スマートフォン向けに需要が高まっている、国内外のNAND型フラッシュメモリー向けを中心に拡販を進めました。その結果、売上面に関してはアドバンスプローブカード（Mタイププローブカード、Vタイププローブカード）を中心に売上を伸ばす事ができました。

更なる品質向上や新構造、新素材の開発を推し進めながら、原価低減や生産性向上に努めて参りましたが、競合他社との価格競争、円高傾向も相まって、利益面につきましては、厳しい結果となりました。

アドバンスプローブカード

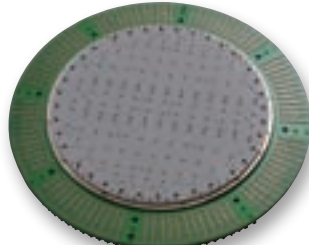
カンチレバープローブカード



Mタイププローブカード

近年メモリーIC向けを中心とした、さらなる微細化、大型化要求に応えるため、MEMS技術*を用いたプローブカードです。

* Micro Electro Mechanical Systems



Vタイププローブカード

1994年にメモリーIC向け多数個同時測定のための垂直型プローブカードの先駆者として市場投入され、シリーズ品を増やすなど、現在も進化し続ける、当社の主力製品です。



Cタイププローブカード

プローブ(探針)の形状が力学でいう片持ち梁(Cantilever)の構造を持つタイプです。カンチレバープローブカードにおいては、世界のトップシェアを確保しております。

最終製品

1



スマートフォン

データ保存用に使用されるフラッシュメモリーの検査に、当社のMタイプ、Vタイププローブカードが使われています。

2



薄型テレビ

映像の高画質化や3D対応などに必要な半導体の検査に、当社のCタイプ、Vタイププローブカードが使われています。

3



自動車

エンジンやカーナビなどに使用される半導体の検査に、当社のCタイプ、Vタイププローブカードが貢献しています。

2011年度第1四半期のご報告

2011年4月1日~2011年6月30日

証券コード 6855

BUSINESS REPORT
JEM TODAY

JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
JEM 日本電子材料株式会社
http://www.jem-net.co.jp

株主名簿管理人 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話0120-094-777 (通話料無料)
返送先 〒540-8694 大阪東支店私書箱第455号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

①開く

株主様へのお知らせ

第52回定時株主総会を開催

2011年6月24日(金)、都ホテルニューアルカイクにて第52回定時株主総会を開催いたしました。多数の株主の皆様にご来場頂き、4つの議案が可決され約45分で閉会いたしました。

ご報告の主な内容

- ◎事業報告 2010年度の業績概要… 売上、経常利益、経営体質強化策
- ◎経営戦略 2011年度～2013年度 中期計画
 - ①次世代に向けた新製品開発 製品の進化による拡販
 - ②海外販売の強化
 - ③原価低減の一層の促進
 - ④経営基盤の更なる強化

株主メモ

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 ☎0120-094-777 (通話料無料) ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公 告 の 方 法	日本経済新聞に掲載して行います。

JEM TODAYは年4回発行 最新情報をお届けします。

JEM TODAYは毎年4回、四半期ごとに発行しています。
 通期報告・第1四半期報告は3月末現在の株主様へ、第2四半期報告・第3四半期報告は9月末現在の株主様へお送りしています。

株主の皆さまへ

ご挨拶

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2011年度第1四半期を終了いたしましたので、事業の概況をご報告いたします。

当第1四半期連結累計期間における半導体市場は、従来型パソコンの需要減少等の影響を受け、メモリーICの価格が下落する等、半導体市場の成長の伸びは鈍化しました。また国内においては、東日本大震災により、半導体や原材料の生産工場が一時生産停止する等の影響を受けました。

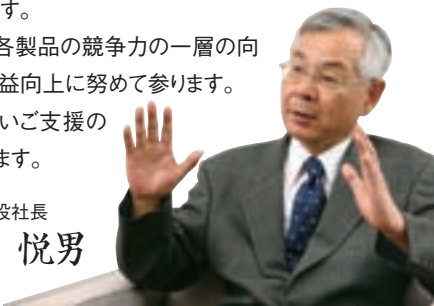
このような事業環境の中、当社グループといたしましては、アドバンストプローブカードを中心に拡販に努めた結果、売上を伸ばす事が出来ました。また更なる品質向上等を推し進めながら、原価低減や生産性向上に努めて参りましたが、競合他社との価格競争、円高傾向も相まって、利益面につきましては、厳しい結果となりました。

世界景気の回復の鈍化や、東日本大震災からの復興の遅れも懸念されておりますが、半導体市場につきましては、スマートフォン向けNAND型フラッシュメモリー市場の成長等、中長期的な成長軌道は維持されると考えております。

当社といたしましても、各製品の競争力の一層の向上に努め、売上確保と利益向上に努めて参ります。

今後とも皆さまの暖かいご支援のほどよろしくお願いいたします。

代表取締役社長
風間 悦男



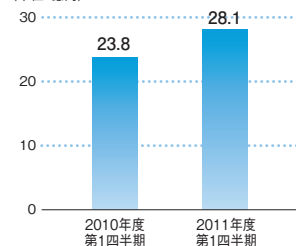
財務サマリー

(単位:百万円)

期 別	2010年度 第1四半期	2011年度 第1四半期
売 上 高	2,385	2,819
営 業 利 益	154	△ 52
経 常 利 益	81	△ 63
四 半 期 純 利 益	72	△ 204
1株当たり四半期純利益(円)	6.87	△ 19.31

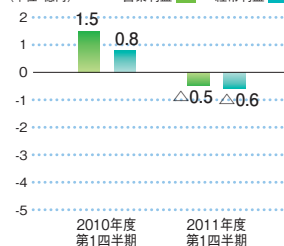
売上高

(単位:億円)



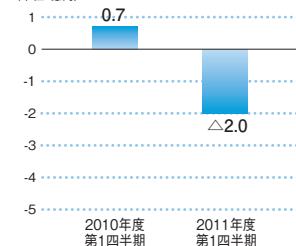
営業利益・経常利益

(単位:億円)



四半期純利益

(単位:億円)



1株当たり四半期純利益

(単位:円)

